

訪問看護ステーション そら

～言語聴覚療法のご案内～



営業情報

営業日 祝日を含む平日(GW、お盆、年末年始を除く)
営業時間 9:00-18:00
サービスエリア 京都市西京区、右京区(京北地域を除く)、
南区、向日市、長岡京市
住所 〒615-8086
京都市西京区桂乾町29-2 ハイムチャート1階
TEL 075-925-7513
FAX 075-925-7514
HP <https://www.sora-kyoto.jp/>



ごあいさつ

言語聴覚療法は、「コミュニケーション」と「食べること」のリハビリテーションを行います。地域で暮らす方々の「話したい」「食べたい」という思いを支えます。

また、ご自宅で最期を迎えられる方や認知機能の低下された方のリハビリテーションも担当します。

これまでの経験をもとに、低下した機能の改善だけでなく、予防にも力を入れて取り組んでいきたいと考えています。理学療法士や作業療法士と比較するとなじみのない分野かもしれませんが、開始前の事前訪問や相談もお伺いしますので、お気軽にお問合せください。

訪問看護ステーションそら
言語聴覚士

対象

言語聴覚リハビリテーションの対象となる方は、コミュニケーションや食べることに困っている方です。例えば、食べることの障害には、脳血管障害による口の麻痺以外にも呼吸機能の低下、食事に対する注意が向かないこと、食事姿勢が崩れることなども影響してきます。

食べることの障害

のみこみにくい
むせる
咳払いが多い
食事に時間がかかる
食べる量が減った
食べることがしんどい

コミュニケーションの障害

ことばが出てこない
ことばが聞き取りづらい
しゃべりにくい
会話の量が減った
聞き返すことが増えた
物忘れが多い

アプローチ

コミュニケーションと食べることは相互に影響し合っており、より効果的なリハビリテーションのため、多面的なアプローチを行っています。

食事時にむせがある方には、飲み込みに関連する器官の訓練や口腔ケア、食形態の提案を行わせて頂きます。また、利用者様の状態に合わせて食事姿勢、環境の調整や認知面に対するアプローチなども行います。

嚥下、食べること

食事の形や姿勢などの調整

食べやすく飲み込みやすくなることで、誤嚥を防ぎ、食べる量が増え、栄養状態がよくなることを目指します。

食事前後の準備やケアなどの指導

しっかりと口を動かし食事ができる状態にするほか、口の環境が良くなることで肺炎などの病気の予防を目指します。

コミュニケーション

口の体操や発声、発話の練習

ことばでのやりとりがしやすくなることで会話の量が増えることや活動性が上がることを目指します。口の体操などの訓練は、食べる、飲み込む力の向上にもつながります。

頭の体操など認知機能に対する訓練

本人にあった課題を行い、注意する、考える、記憶するといった力をつけ、認知症の予防や改善を目指します。

